

大館ふるさと大館へ

大館ふるさと会からのたより ②1

事務局長 菅 原 弘 志 さん

早いものです。大館ふるさと会の一大イベントである総会・懇親会は、今年で第三回目を迎えました。第三回目の催しは、十一月二十三日、東京・目白の椿山荘で多くの会員を集め行われました。

当日は朝よりの晴天。晩秋の東京はまだ美しい紅葉を最後まで残してつづけていました。名園で知られる椿山荘ゆえ、それは一層引き立つ中、一人二人と連れ合い、会員が集まってきました。

地元大館市からも小畑市長をはじめ市の関係者、議会関係、商工関係、それに在京の他のふるさと会の来賓等も多数。

開会までに、既に会場やロビー

で久しぶりの顔合わせに花が咲く風景が方々で見られ、ふるさと会ならではの雰囲気でした。

総会では、事業報告や決算の承認の後に役員の一部改選が行われました。が、今回辞められたかたがたは、設立準備の段階より苦労されてきたのです。新旧の役員に対する感謝と期待の大きな拍手。そして小畑市長の力強く発表する大館の姿にも、惜しみのない拍手が続きました。

第一部では特別アトラクションとして、会員でもある浪曲家玉川お福さんの「秋田民謡の母」といわれる佐藤貞物語が熱っぽく演じられました。

第一部では特別アトラクションとして、会員でもある浪曲家玉川お福さんの「秋田民謡の母」といわれる佐藤貞物語が熱っぽく演じられました。



第3回総会・懇親会のもよう

第二部では、来賓の挨拶、そして鏡開きや乾杯等に引き続き懇親パーティーです。料理に舌鼓を打ち、華やいた会場となりました。永遠の歌姫、青葉笙子さんの民謡があり、ハズレなしのふるさとおみやげ抽選会等盛りだくさん。いい一日でした。

これなあに？



太平山さま

釈迦内神明社のすぐ脇にあるご神体。

3メートルにも及ぶ高さで武骨ながらも細長い外観から、一見、何かいわれのある古木かと思われます。しかし、近くで観察すると実はこれ、岩石。正面には「太平山」の文字があり、秋田市の太平山三吉神社への信仰であることを伺わせます。ただ、磨いたり形を整えたりした様子はなく、ゴツゴツしてきてまるで削り出したままの岩のよう。所在地が釈迦内だけに、鉾山からの産物か？ とも思われますが、建立から相当年数が経過しているらしく、建立の理由や年代、なぜこのような形なのかは明らかではありません。

どなたか釈迦内の太平山さまについて詳しいかたがおられましたら、係へご一報を。

横浜発 → 大館着

前略

大館市民になりました ⑥8

☆今回は、御成町3丁目にお住まいの佐藤わたるさんです。

Q. ご家族は何人ですか？

妻の裕子、長女のまりや(有浦小一年)、次女のおんな(カトリック幼稚園)とわたしの四人です。

Q. どちらからおいでになりましたか？

今年の四月、転勤で横浜から越えて来ました。

Q. 大館の印象はいかがですか？

やはり関東とは寒さの次元が違います。でも、「寒い寒い」と言いながら、子供たちは雪やハクチョウに興味津々です。

市街地に温泉がたくさんあるのはうれしい点です。また、気ぜわしさがなく風土もいいですね。キャンプ道具やスキーをそろえてアウトドアライフを楽しんでみようかな、なんて気持ちの余裕さえ生まれてきますね。

Q. 食べ物や言葉はいかがですか？

この秋、職場のかたちとたんば会を開いたのですが、さすがに本場の味は格別でした。中でも印象的なのは鳥肉のおいしさです。言葉といえば子供たち。現在ちようど、共通語と大館弁の過渡期にあるようで、おもしろい発音になっているんですよ。

Q. 大館に何を望みますか？

横浜では、公園の一角にログキャビンがあって、木のバズルや迷路、登り棒、絵本コーナーなどを備えた、子供の遊び場になっていました。木の温もりを存分に味わえる、とてもいい施設だと思いました。大館は樹海ドームなどで秋田杉のイメージが強い街ですから、そんなログキャビンを設けてみると大変効果的ではないでしょうか。

